



市長二期目で

学校の統廃合を進めるのか？

答弁 共感を得るような仕組みづくりを進める

議員 8月臨時会議の中で市長から所信表明が出され、その一つに小中学校の適正配置があった。令和元年5月定例会議で、小中学校の適正配置について一般質問を行った時は、教育委員会内部で調査検討をしているという答弁であった。市長一期目の4年間でどのような対処をしてきたのか。

教育委員会教育長

答申はしっかりと受け止めてきた。

議員

所信表明の中で、小中学校の適正配置を進め、教育環境の充実を図り、学校跡地については地域住民の交流拠点となるよう有効活用を進めるとあるが、どの学校を想定した統廃合か。

市長

過去4年間、区長をはじめ保護者などと対話を重ねてきた。その中で、地域の方から統廃合を一日も早く進めてくれという要望もあった。これから、市民の皆さんの共感を得るような仕組みづくりを進めていきたい。

教育委員会教育長

小中学校児童生徒数の現状は、児童生徒数の減少は、予想以上に加速している。具体的な例をあげると、来年度の大花羽小学校の新生は2名である。

議員

毎年80人から100人の子どもたちが減少している。これは



道の駅は3億円でできるのか

答弁 選挙時の発言は一般質問では答えられない

議員 62条で議員は市の一般事務について一般質問することができる。質問内容は一般事務とどう関係があるのか。

議員

市長は道の駅について「財源は約16億円、そのうち13億円を神達岳志が国県から引つ張ってくる予定になっております。必要ない、お金がかかるとお声があるようだが、神達岳志は未だの常総市のために最小の投資で最大の効果がある政策を推進していきます。市の実質的負担は3億円です」とツイートしているが、3億円でできるのか。

市長

そのツイッターは私が投稿したもので反問する。

議員

選挙時の市長のオフィシャルサイト、オフィシャルスタッフの発言である。それを私が発言したものかとは、あまりにも無責任な発言ではないか。

市長

選挙戦の議論をやるのであれば、とことんやる。選挙戦のことであれば、私も山ほど言いたいことはある。議会規則の第

3億円でできると聞いて選挙で投票した方もいる。しかし、今議会の一般質問で明らかにした予算の内訳を見ると、総事業費16億円の内、一般財源が3億円。市長が既に内定していると発言した内閣府と国交省の補助金、交付金、合計5億円は、現時点では申請もしておらず、実はまだ決まっていない。そして一番大変なのは、市債の借金が8億円も入ると判ったことである。これを市民が本当に知ったら、どう思うか。「選挙戦で言ったことは、一般質問では答えられない。」これで済まされるのか。コロナ禍であり財政状況を含め、今後は議員の皆さんとしっかり議論、検討していく。